

敬

六年 12
筆順 一 廿 芍 苟 敬
オン ケイ
クン うやま川う

成り立ち

「神に仕えるみこが、神前に身をかがめて、祈りのことばを唱えること」を表した「苟」と、「いましめる」意味の「文」とを組み合わせて作った字です。

「心をいましめて、神を『うやまう』」ことを表した字で、「つつしみ、うやまう」ことです。

「みこ」とは「神に仕える『御子』」という意味のことばで、未婚の女子がなります。それで、「巫女」と書くのがふつうです。「苟」は、その巫女のすがたをよく表しています。

敬言

六年 19
筆順 一 廿 芍 苟 敬 言
オン ケイ
クン

成り立ち

「心をいましめる」という意味の「敬」と、「言」とを組み合わせて作った字です。

「いましめることば」という意味の「敬」と、「言」とを組み合わせて作った字です。

「心をつげなさい」と言って、「人を『いましめる』」ことです。【例】警告、警笛、警報、警句。

「用心する」「取りしめる」という意味にも使います。【例】警戒、警備、警護、夜警、警察。

使い方

▼わたしは常日頃、尊敬している先生の家に行きました。敬意をあらわすために、手作りのクッキーを持って行きました。先生は、とてもよろこんでくださいました。▽ぼくは敬語を使うのが苦手なので、おとうさんに教えてもらいました。おとうさんの言うのには、敬語はそんなにむずかしくはないそうです。要するに、自分のことはへりくだり、相手のことは敬って言えば良いのだそうです。

熟語例

▼尊敬（尊び、敬うこと。相手を偉い人だと思って、それを態度にあらわすこと。）
▼敬意（尊敬する心）
▼敬語（尊敬をあらわす言葉。相手を敬う「尊敬語」・自分のことをへりくだって言う「謙譲語」・ものを丁寧に言いあらわす「丁寧語」などがあります。）
▼敬愛（尊敬し、愛すること。「わたしの敬愛する作家チャールズ・デイケンズ」などというふうに、つかいませ。）

使い方

▼大雨が降り続いたので、川がはんらんするのではないかと、人々は警戒していました。
▼火事が起きた時、警報が鳴るよう、火災報知器を取りつけることにしました。

熟語例

▼警告（前もって告げて、いましめること。「もうすぐ地震が起こると警告されたので、非常用の持ち出し袋を用意しました」などというふうに、つかいます。）
▼警笛（警告のために鳴らす笛や、笛のかわりになるもの）
▼警報（危険が起こりそうな時、人々にあらかじめ用心させるための知らせ）
▼警句（真理を含んでいたり、気が利いた考えを含んでいたりする、ピリツとした短い文句）
▼警戒（起こりそうな危険に対して、用心すること。）
▼警備（非常事態に備えて、用心すること。）
▼警護（非常事態に備えて、用心し守ること。）
▼夜警（夜、町内や建物の中を回って、火事やどろぼうなどに備えること。また、その役目の人）